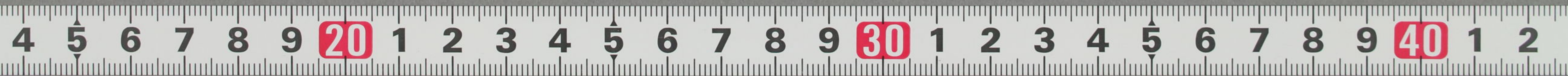


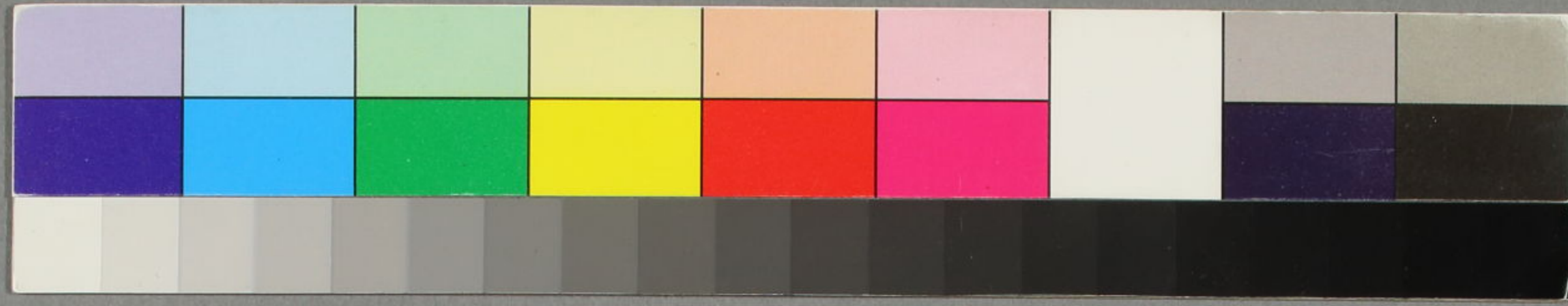
孝中暇居百影仙

全

5

4484





陸承松

陸承松

陸承松

明治百歌

明治百歌

明治百歌

手

可治大田秋

夢題



明治百五十四年
九月廿一日
隱士五十八歳の
乃仙鳳子也
玉

ものねに
い食のふ
百家仙
〜明治の〜
市の旭有
弄仙と
今海内
さ〜各
く市
もの浅
おぬ

水 奇 水 富 多 富 水 字 多 富 多 富 水 字 多 字 多 富

五石齋圖

寧 惠 子 祿 定 寧 亦 寧 寧 亦 寧 寧 亦 寧 寧 亦 寧

陽 陽 陽 陽 陽 陽 陽 陽 陽 陽 陽 陽

1

南字南字南字南字南字南字南字南字南字南字

南字南字南字南字南字南字南字南字南字南字

九齋
遊宮
和子春
宮
美
宮
宮
春
宮
宮
宮
宮
宮

新長と存（新中）大徳寺
 晴るわ。いゝ景の幕
 ありたにわ（信）もさく
 花金（茶）もさく（茶）もさく
 白粉もさく（娘）もさく
 中（娘）もさく（さ）もさく
 信（弟）もさく（さ）もさく
 十（新）あれもさく（村）
 胆（腹）もさく（さ）もさく
 後（中）もさく（さ）もさく
 斗（鏡）もさく（さ）もさく
 こ（わ）もさく（さ）もさく
 銅（銀）もさく（さ）もさく
 毒（の）もさく（さ）もさく
 比（分）もさく（さ）もさく
 と（ど）もさく（さ）もさく
 る（も）もさく（さ）もさく
 よ（も）もさく（さ）もさく

新長 西宮稲園 一蓮居

新長と存（新中）大徳寺
 晴るわ。いゝ景の幕
 ありたにわ（信）もさく
 花金（茶）もさく（茶）もさく
 白粉もさく（娘）もさく
 中（娘）もさく（さ）もさく
 信（弟）もさく（さ）もさく
 十（新）あれもさく（村）
 胆（腹）もさく（さ）もさく
 後（中）もさく（さ）もさく
 斗（鏡）もさく（さ）もさく
 こ（わ）もさく（さ）もさく
 銅（銀）もさく（さ）もさく
 毒（の）もさく（さ）もさく
 比（分）もさく（さ）もさく
 と（ど）もさく（さ）もさく
 る（も）もさく（さ）もさく
 よ（も）もさく（さ）もさく

前前前前前前前前前前前前、前前前

文音

吳升國賀年款

寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧寧

寔 寧 寔 寧 寔 寧 寔 寧 寔 寧 寔 寧 寔 寧 寔 寧

海國圖志

寒 沙 寒 沙 寒 沙 寒 沙 寒 沙 寒 沙 寒 沙 寒 沙

海字海字海字海字海字海字海字海字

曉 字 曉 步 曉 家 曉 家 曉 步 曉 家 曉 步 曉 家 曉

寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字 寫曉字

+

[illegible]

空 有 意 道 有 意 有 意 通 有 意 意 有 意 意 有 意

村田亭

風富風富風富風新風富風齊風富風富

市震瑞 市文瑞 市文瑞 市文瑞

丁丑

文彙通考

芝川 芝川 芝川 芝川 芝川 芝川 芝川 芝川 芝川 芝川 石曲
 芝川

二
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

蘇甫靈苑甫靈苑甫靈苑甫靈苑甫靈苑甫靈苑甫靈苑

[illegible][illegible]

山 水 山 水 山 水 山 水 山 水 山 水

文通卷

南南南南南南南南南南南南南南南南

水 富 富 水 富 富 水 富 富 水 富 富 水 富 富

५

步八

下步村卷之三

天字第一

水山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

東山 東山

十八

文通卷

音 吟 音 吟 音 吟 音 吟 音 吟 音 吟 音 吟 音 吟

風香風香風香風香風香風香風香風香風香

東京 岩川 一 具 啓

七

陽 陰 陽 陰 陽 陰 陽 陰 陽 陰 陽 陰 陽 陰

昔より新の順に用ゐる
 無量の上のふりや
 大九の居、雄剣のふりや
 十の居、雄剣のふりや
 人まゝなり、やゝなり
 小代、雄剣のふりや
 ちよ、雄剣のふりや
 ふり、雄剣のふりや
 ばり、雄剣のふりや
 鉈、雄剣のふりや
 月、雄剣のふりや
 扇、雄剣のふりや
 何、雄剣のふりや
 吃、雄剣のふりや
 ちよ、雄剣のふりや
 ふり、雄剣のふりや

百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百

昔より新の順に用ゐる
 無量の上のふりや
 大九の居、雄剣のふりや
 十の居、雄剣のふりや
 人まゝなり、やゝなり
 小代、雄剣のふりや
 ちよ、雄剣のふりや
 ふり、雄剣のふりや
 ばり、雄剣のふりや
 鉈、雄剣のふりや
 月、雄剣のふりや
 扇、雄剣のふりや
 何、雄剣のふりや
 吃、雄剣のふりや
 ちよ、雄剣のふりや
 ふり、雄剣のふりや

百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百 百

西五位島中村通北河

if you please

[illegible]

春高晴春高晴春高晴春高晴春高晴春高晴春高晴

依之 經水 氏子 了

石可石可石可石可石可石可石可

瑪寧富瑪寧富瑪寧富瑪寧富瑪寧富瑪寧富瑪寧富

王

吳郡國史

中巻の終りと始まり

字 鵬 了 玲 宁 玲 宁 玲 了 玲 宁 玲 了 玲 宁 玲

瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字 瑪 字

大坂無事清國是

歲富望歲休望歲富望歲富望歲富望歲富望
吳松 旭高 雲望

書藏室萬歲寧壽萬歲寧壽萬歲寧壽萬歲寧壽

明正十年年交書

兩字百字百字百字百字兩字兩字百字百字
 解兩

宜百宜百宜百宜兩宜百惠百宜兩宜兩宜百

晴窗山石書卷圖 張氏

最難寫最難寫最難寫最難寫最難寫最難寫
 吳 本 旭 寫

追慕漢廷師表
三津川好翁
權後園

三津州好翁
張汝圖

大とね川

[illegible]

清江先生
神鑄圖

清定高 清定高 清定高 清定高 清定高 清定高 清定高

[illegible]

水 窠 水 窠 水 窠 水 窠 水 窠 水 窠 水 窠

陸松浦中通卷

[illegible]

河 勃 河 勃 河 勃 河 勃 河 勃 河 勃 河 勃

瑪河瑪河瑪河瑪河瑪河瑪河瑪河瑪河瑪河瑪河

通志

九梅
全 龍 全 龍 全 龍 全 龍 全 龍 全 龍

龍全富全龍全富全龍全富全龍全富全龍全富

解解林
西村山部
廿一學

わ川の古蘭

富山成富山成富山成富山成富山成富山成富山成
旭山

成 成 山 成 成 山 成 成 山 成 成 山 成 成 山 成 成 山

山陰沈氏

東海所見

加平 二乙 高嶺 足 細 高嶺 道 高嶺 道 高嶺 乃 高嶺 高嶺

藏是富 藏是富 藏是富 藏是富 藏是富 藏是富 藏是富 藏是富

定玉甫定玉甫定玉甫定玉甫定玉甫

定南王 定南王 定南王 定南王 定南王 定南王 定南王 定南王 定南王 定南王

朝衣新淨
香滿衣襟

四七

好客神苑

[illegible]

意亦意花意花意亦意花意亦意花

山を望みし是れを梅の
 子と雖もはるかに
 春を文入のふりて
 小ふ……海は百も
 月を……はるかに
 原も……はるかに
 新も……はるかに
 川も……はるかに
 山も……はるかに
 海も……はるかに
 山も……はるかに
 海も……はるかに

東 友 所 友 震 友 疎 友 東 友 東 友 所 友 東 友 東 友

友友友友友友友友友友友友友友友

王德信印

九之
家友馬友富友富友富友富友富友富友富友

何處之為市久候可
河崎侯之

[illegible]

古 道 古 道 古 道 古 道 古 道 古 道 古 道 古 道 古 道 古 道

酒路卷
張少

清旭 桑旭 清旭 桑旭 清旭 桑旭 清旭 桑旭

萬 費 司 萬 費 兩 萬 費 百 萬 費 兩 萬 費 百 萬 費 百

福祿壽三星

[illegible]

南南南南南南南南南南南南南南南南

康島外

有 青 雲 有 頭 雲 有 主 雲 有 春 雲 有 暮 雲 有 北 雲 有 南 雲

定成はくさくさ
 後事の中なり

五八

人死之有後也如常
雖有之亦如常

人富人富人富人富人富人富人富人富人富

百字百字百字百字百字百字百字百字百字百字百字百字百字

梁子村

岐平縣
柳子林通卷

礞九礞九礞九礞九礞九礞九礞九礞九礞九

九碌九碌九碌九碌九碌九碌九碌九碌九碌九碌

安江郡御壽村
棚橋氏

壽考

[illegible]

寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢寢

富字浦富字浦富字浦富字浦富字浦富字浦富字

詠高志 謝高志 謝高志 謝高志 謝高志 謝高志 謝高志

九

種春 旭
春 富 喜 富 春 祥 富 喜 富 春 富 春

書 寫 之 法

西京車馬道池上
北川氏

榮華全記

五字五字五字五字五字五字五字五字五字

五原府志新張公館所二十卷地 伍氏

新嘉坡

[illegible]

用字用字用字用字用字用字用字用字用字用字

用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用 用

生 富 生 富 生 齊 生 富 生 富 生 富 生 富 生 富 生 富

[illegible][illegible]

向見向光向走向光向走向光向走向光向走

海邊草

十六

[illegible]

旭風
寫格寫格寫格寫格寫格寫格寫格寫格寫格

卷之六 廣易知言序 鍾山先生

楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧 楊 寧

古 步 窠 古 步 窠 古 步 窠 古 步 窠 古 步 窠 古 步 窠

之
之
印興

生古生古生古生古生古

二ノ
 今もあつたを思ふつゝ
 故草もやけられぬの通
 ちも瑞雪の中湖岸の波
 へは新雪の音を聴き
 窓を敲けぬあつた
 庭を歩くと山は静かに
 流るる雪の音の通
 ちもあつたを思ふつゝ
 今もあつたを思ふつゝ
 故草もやけられぬの通
 ちも瑞雪の中湖岸の波
 へは新雪の音を聴き
 窓を敲けぬあつた
 庭を歩くと山は静かに
 流るる雪の音の通
 ちもあつたを思ふつゝ
 今もあつたを思ふつゝ

少くも
 ちよき

少くも
 今もあつたを思ふつゝ
 故草もやけられぬの通
 ちも瑞雪の中湖岸の波
 へは新雪の音を聴き
 窓を敲けぬあつた
 庭を歩くと山は静かに
 流るる雪の音の通
 ちもあつたを思ふつゝ
 今もあつたを思ふつゝ
 故草もやけられぬの通
 ちも瑞雪の中湖岸の波
 へは新雪の音を聴き
 窓を敲けぬあつた
 庭を歩くと山は静かに
 流るる雪の音の通
 ちもあつたを思ふつゝ
 今もあつたを思ふつゝ

少くも
 ちよき

後電後電後電後電後電後電後電後電後電

[illegible]

[illegible]

九年四月

山 壑 山 壑 山 壑 山 壑 山 壑 山 壑 山 壑

山意山意山意山意山意山意山意山意

寒分 苞分 苞分 寒分 苞分 寒分 苞分 寒分 苞分

子惠子進子進子退子退子進子進子退子退

九分 八分 七分 六分 五分 四分 三分 二分 一分

高 升 高 升 高 升 高 升 高 升 高 升 高 升 高 升 高 升

人君人父人子之道

了 爲 所 爲 爲 爲 爲 爲 爲 爲 爲 爲 爲 爲 爲

何樂非花

後方有馬兩後方有馬兩後方有馬兩

通部兩得兩後兩得兩得兩得兩得兩得兩得

兩青 兩青 兩青 兩青 兩青 兩青 兩青 兩青

小海通經書

兩 訖 首 訖 兩 訖 首 訖 兩 訖 首 訖 兩 訖 首 訖 兩 訖

九
九

不之語焉

砧 甌 砧 甌 砧 甌 砧 甌 砧 甌 砧 甌 砧 甌 砧 甌

為 砧 為 砧 為 砧 為 砧 為 砧 為 砧 砧 砧 為 砧 為 砧 為 砧

東海所之

吳旭
寫

寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫 寫

詩卷

[illegible]

五

[illegible]

山有山有山有山有山有山有山有山有山有山有

詩

山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山 山

俳諧百歌仙集跋

司馬法曰天下雖平忘戰
必危。かや我々健道を
以て戦ふたゞ人事をや
るゝ。いふに業をあらわ
し府諸縣の風土をいひ
お地を鹿屋に築き橋を
つゝわゝ。勢を海より
攻撃試み。いふに妙の
隆武堂あり。いふに。眼
さるゝ。時勢をいひ。いふ
下総の國香取社の據に
いふ。旭齋氏を齋に

宿將のうらやま其星を
守る魔下の風を服従
せしん謀城帷幕のちみ
めりし一子頗る智略あり
富み多しに討に彼衣を
鎧し林を戦ふ諸将は
進入し健腕を振ひ雄威を
いしむ百戦百勝を得るも
所の敵仙哉百卷の巻
あはれしものち抜群の獲
まのめりし人いほたてく
あはれしものち百戦百勝
撰抜しし櫻木のかみせ

各縣の教諭者へ頒布せん
事と思ふらんあはれし人
その梅集たるや簡便あり
小本なりし行軍討に鎧の
列をせしめあはれし後進者の
あはれし六輪の略はきき
あはれしけりしあはれし海
あはれし旭者の平素雄威を
忘るしし後功のききし
あはれし海軍義舉たるし
あはれし利をききしあはれしふ
あはれし跋文をききし事
あはれしけりしし平素雄威

慈藏辭
兵と神速を言ふ
冬謀の冬言を言ふ
つゝつゝつゝつゝ
事つゝつゝ

明治廿七年二月

弄月園煙風織

北琳孫延書



孝中百歌仙蹟錄

東旭子撰

高周逸史編

[illegible]

[illegible]

里路をゆくもな　一書の家が月宮
 まうし　新中野の福了　可録
 古き名海の果ては草の角　一城
 中々居る日の河　村の風　龍孫
 明り人より玄の部家　榮文
 らいふと　やあ　雪の二斗良
 松平に雨押さうて流石　自隣
 郭公今よまれば命にあ　能く
 新中野のちや　様外　多田
 舟の目さうむ　中別家　守拙
 杉のゆえん　折全部ら　戸岳
 世老より枯つとも事なし　清水
 海のもの浪ものゝまふなり　杉夕
 あり　藤又梅の香のつとも　あけ
 清くては袖わり　花日和山雲輝
 浪の波のまづあら　白
 本年の春もろく　桐花大和堂春
 あつた　戸方　岨ありは河内一貌
 数條の雪より梅の川流　一風
 是う時節　こころを説き　衆心
 阿の細うさの道　此　日和水郷
 よう　障子のあ　影の住み

[illegible][illegible]

毛筆で横書きの文。右端に「有来」の文字が見える。

毛筆で横書きの文。右端に「有来」の文字が見える。

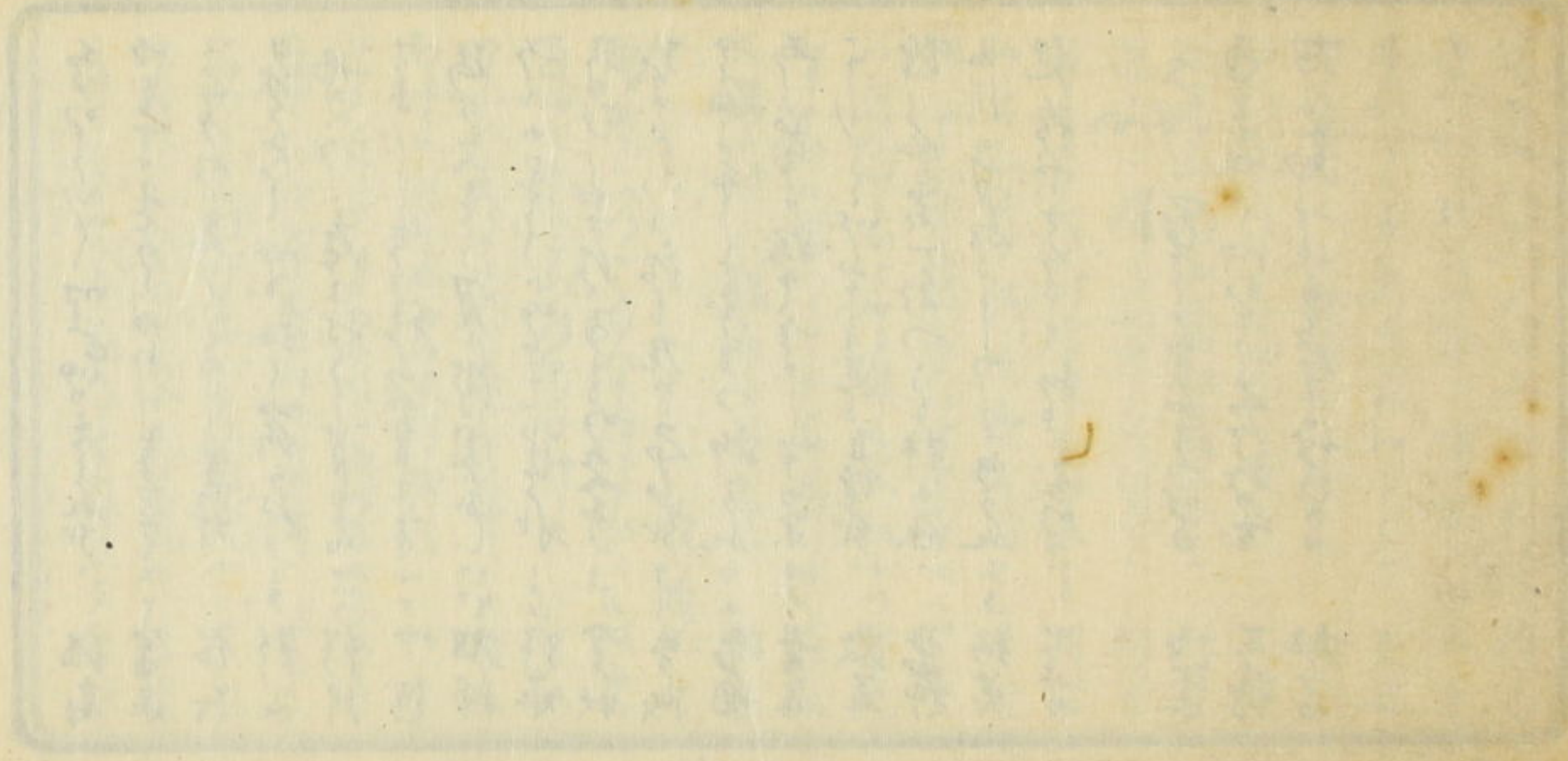
[illegible][illegible]

中ノ神ノ様ニ居ル内都 陸路相浦
 芝草ノ新緑ニて花をのこれ 町は遠外
 茶巾下ニ中ノ月也や 春のまじ、 虫歌
 雲母の光 鈴ノ音 玉ノ月、 龍清
 日の南ニ居る雲ナリ 林也、 未陽
 空より花をのこれのまじ成、 意溪
 静守や花をのこの花ニて、 梅夢
 雲のまじや花をのこれ、 花より 陸路真海
 草月圓也や 雲ニて 花ノ海、 月夢
 人より花をのこれ、 花ニて 雷牛
 夜の門外ニて花をのこれ、 芭蕉
 花より花をのこれ、 花ニて 蘭晚
 花より花をのこれ、 花ニて 相隣
 花より花をのこれ、 花ニて 半窓
 花より花をのこれ、 花ニて 春柳
 花より花をのこれ、 花ニて 士己
 花より花をのこれ、 花ニて 五賞
 花より花をのこれ、 花ニて 相隣
 花より花をのこれ、 花ニて 半耕
 花より花をのこれ、 花ニて 藤園
 花より花をのこれ、 花ニて 喜風
 花より花をのこれ、 花ニて 晴史
 花より花をのこれ、 花ニて 楓陰

[illegible]

和氣 玉山 東麓 學心 唐高 一德 於仙 至誠 下第如 翻荷 廣安 甘如 文路 唯一 步山 一乃 文理 至友 鷺汀 金秋 壽仙 香山 松海

五曉 可欣 佳大 五溪 渡村 柳姑 守心 作用 為正 沈慶 父生 富山 松雲 五峰 黃氏 東月 寧水 晉浦 沈南 瑞蓮 芳英 清江



明治廿五年三月十五日印刷

乙未年一月 日發行

出版人 千葉縣平民 東旭齋

下総國香取郡香取村
大字多田新田八百六拾五番地

一 縣平民

發行者書林

朝野利兵衛

同國全郡佐原所
五百三番地

神奈川縣平民

印刷人

山坪長吉

武藏國橘樹郡生田村
大字生田寺九百八十三番地

